

Ⅱ．産業社会学部で開講するゼミについて

1. 「専門演習」の種類と説明および申請対象者

種類	説明	申請対象者
ダブルメジャーゼミ	所属専攻の学生に加え、ダブルメジャー履修をしている他専攻生を受け入れるゼミです。	①所属専攻の学生 ②ダブルメジャーゼミを開講する専攻をダブルメジャー履修している学生 ※1回生後期にダブルメジャー登録をしていない学生は、所属専攻以外のダブルメジャーゼミに申請することはできません。
学部共通ゼミ	専攻横断的なテーマ設定をしたゼミです。	学生の所属専攻に関係なく全ての専攻の学生が申請できます。
国際ゼミ	国際的なテーマを中心に扱うゼミです。	

2. 「専門演習」のテーマと「領域」

「専門演習」は、クラスごとの専門テーマについて学修を進めていきます。

「専門演習」のテーマはクラスごとに掲げられていますが、専攻の下に「領域」を設け、特定のテーマや課題に共通するキーワードを示しています。

クラス選択にあたっては、個別のテーマや担当教員名だけで決めるのではなく、産業社会学部に入学してきた動機、これまでの専攻での学びにもとづき、今後学修を深め、展開させていくためのクラスを「領域」や専攻にまで視野を広げて検討することが重要です。1つのクラスに希望を絞りきらず、複数のクラスを申込み候補として想定してください。

3. 「専門演習」と「卒業研究」

産業社会学部では、学部専門科目の後半期学修におけるゼミとして、3回生に「専門演習」、4回生に「卒業研究」を配置しています。「専門演習」と「卒業研究」は同じクラス（持上りクラス）で学修を進めます。

3回生、4回生の2年間で卒業論文をはじめとする成果物を完成させることを目標に学修を進めていきます。3回生「専門演習」では、年度末にレポートや作品の提出を義務づけています。

	専門演習	卒業研究
科目の概要	教養科目、基礎演習Ⅰ・Ⅱやプロジェクトスタディを含む学部共通専門科目、専攻コア科目を含む専門導入科目などの、本学部で学ぶ上で必要なディシプリン（学問的な基礎と方法）に関する科目の学修を踏まえ、ゼミナール形式による担当教員の専門的な指導が行われ、個人または集団的な学修・研究を進めることにより、その成果を論文や作品として発表できる力量の形成を目指します。	3回生「専門演習」の成果を土台に、専門科目などの学修を踏まえ、個人または集団的な学修・研究を進めます。各自の研究テーマと研究計画をもとに、担当教員の指導を受けながら、学修・研究のまとめをおこなうことを目標とします。個人または集団的な学修・研究の成果を卒業論文、または卒業論文に代わる成果物に仕上げることを目指します。
配当回生	3回生のみ	4回生のみ
開講期間・単位数	通年・4単位	
先修条件	なし	「専門演習」の単位を修得していること
受講登録方法 ※変更になる可能性もあります	登録が許可されたゼミに大学が一括して受講登録を行います。各自が受講登録を行う必要はありません。 ※受講登録の取消、辞退はできません。	各自で受講登録を行います。
単位授与分野	専門展開科目（ダブルメジャーゼミ・学部共通ゼミ・国際ゼミいずれも）	
定員	1クラス15名 ・ダブルメジャーゼミはダブルメジャー履修生のみの定員を定めていません。所属専攻の学生とダブルメジャー履修生を含めて定員は15名です。 ・学部共通ゼミ、国際ゼミは専攻にかかわらず定員は15名です。	